

- 第5回理事会(11月12日)～第6回理事会(12月10日)
11月21日(土) 第2回武蔵野エリアミーティング(柏木専務、横山)
12月5日(土) 東京ブロック大会(神谷)

【詳細】

- 第2回武蔵野エリアミーティング
テーマは「新学期活動」
外語大生協は、外新歓とそれ以降の総代活動について学生委員が資料作成のうえ柏木専務が発表。
外新歓で語科ごとに総代を獲得し、総代ミーティングを経た総代会の後も、総代交流会(グミ試食会)や機関誌『虹』新歓号作成への協力など、1年間を通じた総代との繋がりを強調 ※発表資料は別紙

〈他大の声・感想〉

- ・総代との縁を切らずにつなげていること(一橋・2年)
一橋では総代会のみのつながりとなっており、組合員の方のその後の積極的な利用促進につながっていない、と考えられるため。
- ・各語科にいる総代を巻き込んだ活動(学芸・1年)
年間を通して各語科の協力、情報が得られる
- ・総代に対し、段階を踏みながら役割を説明し、協力してもらうこと(一橋・1年)
自分の立場についてよく知らない総代が、少しずつ確実にそれを理解し、積極的に活動に参加してくれるようになってきたから。

その他感想は別紙にて。

- 東京ブロック大会・武蔵野エリア運営委員会
〈2015年度エリア総括〉
方針Ⅰ：組合員が大学生協を自分の生協だと実感できるように活動しましょう
→外新歓における全体会や総代ミーティングなど、生協を理解する試み
組合員の声カードや総代向けグミ試食会(6月)など、運営に携わってもらう
方針Ⅱ：エリア連帯を通して、大学生協の魅力を高め合いましょう
→学生委員がセミナーに参加し、他大生協と意見・アイデアの交換を行う

〈2016年度エリア方針〉
方針Ⅰ：自分の言葉で利用実感を伝えましょう
方針Ⅱ：組合員の目につきやすいように工夫し、組合員の声が反映されたことを知らせていきましょう
方針Ⅲ：総代会前の総代と関わる機会、生協の運営の仕組みを伝えていきましょう
方針Ⅳ：組合員が利用したくなる店舗を作りましょう
方針Ⅴ：組合員の現状にあった共済活動を行いましょう

※具体的な方策については今後の部会で議論

〈自大方針〉

- ・まずは、学生委員獲得

- ・生協の運営や総代の仕組みについて、総代を中心とした組合員に理解してもらう。
その上で、積極的に企画に参加してもらう。

- その他

共済企画＝自転車無料点検会(10月13日)、食生活相談会(10月22日)

古本市(10月26日・27日)

以上2つについて、東京地域活動便り「あくていぶ」に掲載

→両企画の詳細を改めて「あくていぶ」にてお伝えします(別紙)。

- 新入部員加入

渡邊 桃子(言語文化学部フランス語専攻2年)

- 今後の活動

12月14日(月) 学長懇談会

→学生委員会活動報告、また学生委員会 **Twitter** とメールで募集している
学生の要望を報告する予定

12月14日(月) 給付事例学習会

→実際の共済給付事例を通して共済の制度への理解を深めると共に、
職員・学生委員が学生生活におけるリスクについて学ぶ

12月19日・20日(土・日) 全国総会(西垣・神谷)